

早期景気観測調査

【12-1 月期 調査結果概要報告書】

平成29年2月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 平成29年1月16日(月)～31日(火)
4. 調査対象： 当所会員151事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 100件
7. 有効回答率： 66.2%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【12-1月期の動き】

業況は一転して悪化。卸売業の業況悪化が目立つ。向こう3カ月の先行きは改善の見通し。

12-1月期の全業種総合のDIは▲28.0（前期比▲8.2ポイント）となり、3期ぶりに悪化に転じた。売上DIは3期連続で改善したが、一方で仕入単価DIは悪化に転じ、採算DI・従業員DIについても3期ぶりに悪化に転じている。金融貸出しDIについては2期連続の改善となった。向こう3ヶ月の先行き業況は、改善する見通し。

業種別では、小売業・サービス業で業況改善、製造業・建設業・卸売業で業況悪化となった。

製造業の業況DIは▲13.0（前期比▲5.3ポイント）と3期ぶりに悪化に転じた。前期プラス水準となった売上DIは、再びマイナス水準へと悪化し、採算DI・従業員DI・金融貸出しDIについても、いずれも悪化となっている。唯一、仕入単価DIのみ小幅な改善に転じた。

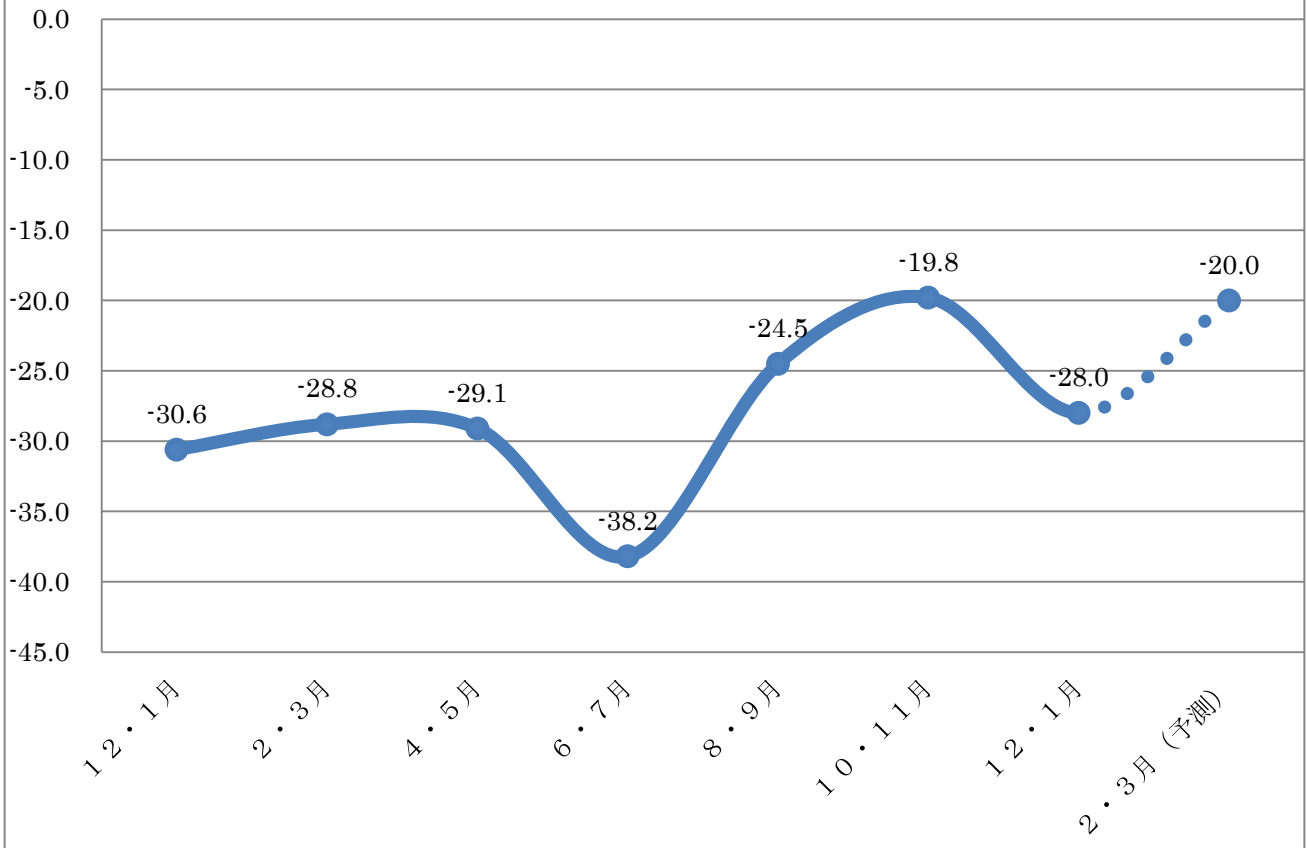
建設業の業況DIは▲21.1（前期比▲16.1ポイント）と5期ぶりに悪化に転じた。売上DIは2期連続で改善し、また仕入単価DIも改善に転じている。しかし、採算DI・従業員DIがともに3期ぶりに悪化、金融貸出しDIも悪化に転じた。

卸売業の業況DIは▲70.6（前期比▲59.5ポイント）と大幅な悪化に転じた。▲70を下回るのは平成20年12月・平成21年1月期以来。売上DI・採算DI・仕入単価DI・従業員DIのいずれも悪化に転じ、とりわけ採算DIは36.2ポイント、仕入単価DIは30.7ポイントの大幅なマイナスとなっている。唯一、金融貸出しDIのみ改善に転じている。

小売業の業況DIは▲20.0（前期比+17.0ポイント）と3期連続の改善となった。売上DIが改善に転じ、また採算DIは3期連続、金融貸出しDIは2期連続での改善となった。一方で、改善が続いていた仕入単価DIが8期ぶりに悪化に転じ、従業員DIも2期連続で悪化している。

サービス業の業況DIは▲25.0（前期比+15.0ポイント）と改善に転じた。売上DI・採算DI・金融貸出しDIがそれぞれ改善に転じたが、仕入単価DIは悪化に転じている。従業員DIについては、ほぼ横ばいの推移となっている。

業況D I の推移






◆全業種・業種別詳細

※ D I 値 (景況判断指数) について

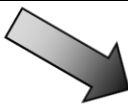
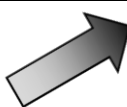





D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて (先行は今回実績値に比べて)		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「↗」 (改善) と表示しております。
従業員D I は、従業員が不足している場合、「↗」 (改善) と表示しております。

◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲28.0	▲20.0	▲27.0	▲31.0	▲27.0	10.0	4.0

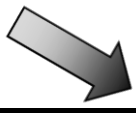
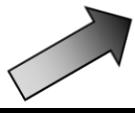
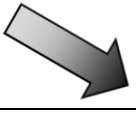
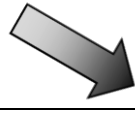
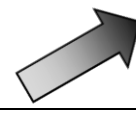
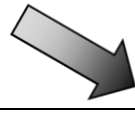
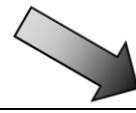
12-1月期の全業種総合の業況D I は、▲28.0 (前期比▲8.2ポイント) となり、3期ぶりに悪化に転じた。

項目別では、売上D I (▲28.3→▲27.0) が3期連続で改善。一方で、仕入単価D I (▲18.9→▲27.0) は悪化に転じ、採算D I (▲23.6→▲31.0)・従業員D I (17.0→10.0) についても3期ぶりに悪化に転じている。金融貸出しD I (0.9→4.0) は2期連続の改善となった。

向こう3ヶ月の先行き業況は▲20.0と改善する見通し。

◆ 業種別

製造業

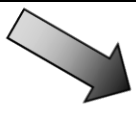
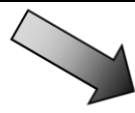

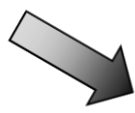
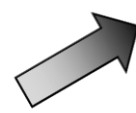


業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲13.0	▲4.3	▲8.7	▲17.4	▲13.0	4.3	▲4.3

業況DIは▲13.0（前期比▲5.3ポイント）と3期ぶりに悪化に転じた。

項目別では、前期プラス水準となった売上DI（7.7→▲8.7）は再びマイナス水準へと悪化し、採算DI（0.0→▲17.4）・従業員DI（7.7→4.3）・金融貸出しDI（3.8→▲4.3）についても、いずれも悪化となっている。唯一、仕入単価DI（▲15.4→▲13.0）のみ小幅な改善に転じた。

向こう3カ月の業況は、▲4.3と改善する見通し。

建設業




業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲21.1	▲42.1	▲31.6	▲31.6	▲21.1	15.8	0.0

業況DIは▲21.1（前期比▲16.1ポイント）と5期ぶりに悪化に転じた。

項目別では、売上DI（▲35.0→▲31.6）は2期連続で改善、また仕入単価DI（▲25.0→▲31.6）も改善に転じている。しかし、採算DI（▲25.0→▲31.6）・従業員DI（30.0→15.8）がともに3期ぶりに悪化、金融貸出しDI（5.0→0.0）も悪化に転じた。

向こう3カ月の業況は、▲42.1と大幅に悪化する見通し。

卸売業








業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲70.6	▲17.6	▲35.3	▲52.9	▲52.9	17.6	17.6

業況D Iは▲70.6（前期比▲59.5ポイント）と大幅な悪化に転じた。▲70を下回るのは平成20年12月・平成21年1月期以来。

項目別では、金融貸出しD Iを除き、売上D I（▲27.8→▲35.3）・採算D I（▲16.7→▲52.9）・仕入単価D I（▲22.2→▲52.9）・従業員D I（33.3→17.6）のいずれも悪化に転じた。とりわけ、採算D Iは36.2ポイント、仕入単価D Iは30.7ポイントの大幅なマイナスとなっている。唯一、金融貸出しD I（5.6→17.6）のみ改善に転じている。

向こう3カ月の業況は、▲17.6と大幅に改善する見通し。

小売業



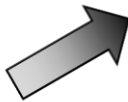
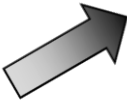


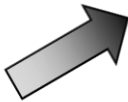
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲20.0	▲4.0	▲36.0	▲28.0	▲16.0	8.0	4.0

業況D Iは▲20.0（前期比+17.0ポイント）と3期連続の改善となった。

項目別では、売上D I（▲55.6→▲36.0）が改善に転じ、また採算D I（▲37.0→▲28.0）は3期連続、金融貸出しD I（▲3.7→4.0）は2期連続での改善となった。一方で、改善が続いていた仕入単価D I（▲3.7→▲16.0）が8期ぶりに悪化に転じ、従業員D I（11.1→8.0）も2期連続で悪化している。

向こう3カ月の業況は、▲4.0と改善する見通し。

サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲25.0	▲43.8	▲25.0	▲31.3	▲43.8	6.3	6.3


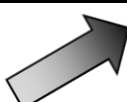





業況DIは▲25.0（前期比+15.0ポイント）と改善に転じた。

項目別では、売上DI（▲33.3→▲25.0）・採算DI（▲46.7→▲31.3）・金融貸出しDI（▲6.7→6.3）がそれぞれ改善に転じたが、仕入単価DI（▲33.3→▲43.8）は悪化に転じている。従業員DI（6.7→6.3）については、ほぼ横ばいの推移となっている。


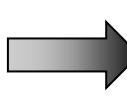
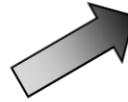
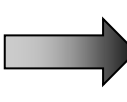
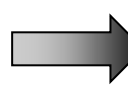
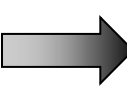

向こう3ヶ月の業況は、▲43.8と悪化する見通し。

◆ 業種別詳細





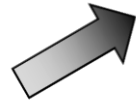


製造業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						







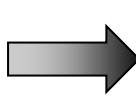
製造業（家具）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						


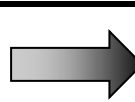

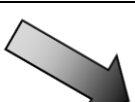
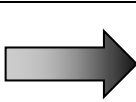
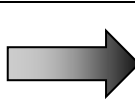
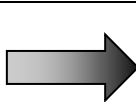
製造業（工業製品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						







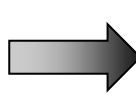
製造業（宝飾）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						



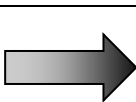
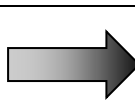

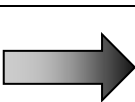

製造業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						



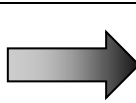
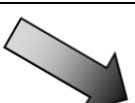
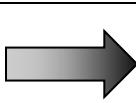
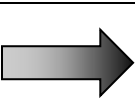
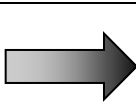
建設業（建築）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						




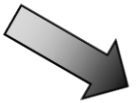



建設業（土木）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

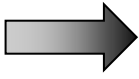



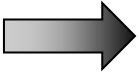
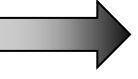
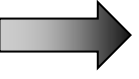
建設業（鉄鋼）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						






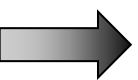

卸売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						








卸売業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						








卸売業（その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						







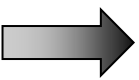
小売業（大型店）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						








小売業（食料品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						


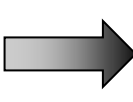



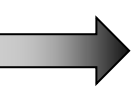
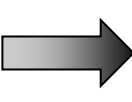
小売業（事務用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						


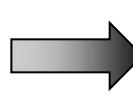





小売業（趣味・日用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

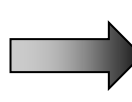

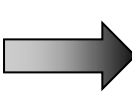



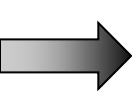
小売業（家電）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						






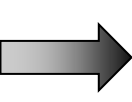

サービス（ホテル・旅館）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（観光）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（飲食その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

➤ 中小企業の声（現状や直面してる課題）

【製造業】

製造業（食品）

- ・精麦製品の好調が続いており、向こう半年は維持できる模様。外国産原料の仕入単価が為替相場に左右されることが不安要素。
- ・売上は横ばいに移行。内訳として、ギフトの落ち込みを販売チャネルの拡大で補っている。円安影響から原材料はさらに値上がり傾向。
- ・依然厳しい状況にあります。しかし、特定銘称酒においては、昨年の 1.5 倍増石の造りになっております。好調な特定銘称酒に続くようレギュラー商品の販売に力を入れていきたいと思っております。

製造業（家具）

- ・TPP の見通しの変化、米大統領の経済政策の不安定、中国経済の悪化等々、当面の業況判断は難しい。

製造業（工業製品）

- ・全体として調整時期により、受注数量は前月に比べ減少していますが、利益面では為替が円安に振れ好転しております。

製造業（宝飾）

- ・1月のIJT 国際宝飾展は来場者も少なく、また日程の関係で中国人バイヤーも少なかったことから厳しい結果となった。

【建設業】

建設業（建築）

- ・公共工事の進み方が遅い。そのため、周りの民間企業も足止めされている。何をやるにでも日本一仕事が遅い山梨県である。人口が減る要素ばかり。
- ・物品等の売上は増加の見込みがない。社会の活発な動きが感じられない。

建設業（鉄鋼）

- ・2～3年越しの工事の完成期を迎えるため、売上高は上がる。県内発注工事は少ない。鉄鋼原料の単価が上がるため、今後鋼材値上げの申し出がきている。

【卸売業】

卸売業（その他）

- ・従業員不足が一番の懸念材料。原油価格は上昇が続き、上昇分を販売価格に転嫁出来ていない。
- ・円安による仕入単価 UP。冬物商品、GMS での売上悪化。

【小売業】

小売業（食料品）

- ・業界では消費が減少気味なので、全体的に下がる傾向です。

小売業（趣味・日用品）

- ・前年は記録的暖冬。深刻な雪不足による天候の影響を受けたため、前年同期より好転。
- ・業況が改善されているとは思えない。まだまだ厳しい状況が続きそうです。

小売業（家電）

- ・今年は酉年ですので景気が良くなりそうですが、県内の状況は今一歩活気が無いように感じています。

【サービス業】

サービス業（ホテル・旅館）

- ・県内経済は決して上向いていない。利用単価も下がる傾向は変わらない。
- ・全体的に宿泊者は大変少なくなっている。昨年は長期で入る企業での宿泊も、1月はほとんどありませんでした。

サービス業（観光）

- ・仕入単価の上昇止まらず。
- ・団体客の動きが非常に良くないです。
- ・前年の水準と比較すると、燃料（軽油）単価が前年レベルまで上昇してきており、今後の価格動向が懸念されます。

以上